

**大豊町の概要**

|     |                                   |
|-----|-----------------------------------|
| 位置  | 東経 133度37分 北緯 33度56分              |
| 面積  | 320.54平方軒 東西 32軒<br>南北 28軒 部落数 88 |
| 人口  | 12,697 男 6,090 女 6,607            |
| 世帯数 | 3,721 (3月末現在住民基本台帳調)              |



昭和47年4月25日発行

全世帯配布

|    |           |
|----|-----------|
| 編集 | 館報大豊編集委員会 |
| 発行 | 大豊町中央公民館  |
| 印刷 | 高知印刷株式会社  |

# のびゆく郷土 大豊町4月1日新発足



**町制施行にあたりご挨拶**

町制施行にあたりご挨拶申し上げます。昭和三十年三月三十一日、大豊町が誕生して以来、初代村長三谷泉水先生並びに二代目村長西岡治郎先生を中心として「和衷協力融合」の精神を以て、議会の



**町制施行にあたりご挨拶**

町制施行にあたりご挨拶申し上げます。昭和三十年三月三十一日、大豊町が誕生して以来、初代村長三谷泉水先生並びに二代目村長西岡治郎先生を中心として「和衷協力融合」の精神を以て、議会の

**町の性格を具備**

農工商業の進展と生活環境の整備を

町制施行のこの日、国県隣接町村等から多数の来賓を迎えて盛大な記念式典が役場四階の議場で行われ、門田町長、寺石議長から挨拶があつて

**町制施行にあたりご挨拶**

町制施行にあたりご挨拶申し上げます。昭和三十年三月三十一日、大豊町が誕生して以来、初代村長三谷泉水先生並びに二代目村長西岡治郎先生を中心として「和衷協力融合」の精神を以て、議会の

**受賞者の顔ぶれ**

表彰の部 (順序不同)

敬称略)

故小笠原清浩 (多年村議会議員の職にあり議長、副議長を歴任し行政進展に貢献) 吉川永晴 (多年村議会議員として行政進展向上に尽力) 竹村国太郎 (多年村議会議員及び遺族会長等を歴任し地方自治の発展に貢献) 小笠原賢 (多年教育委員、同委員長を歴任、教育行政の進展に貢献) 西岡憲 (多年民生委員として社会福祉の向上に努力) 丸山磯恵、藤原充子、門田氣世、豊水栄美、松高茂子 (家庭に精励ねたり老人明らかな家庭を築き、健全明朗な家庭を築く) 重森肇 (長期にわたり辺地の産婆役として母子健康管理に努力) 三谷順子 (母子家庭にあつて母を助け家庭をいそしむ学業に精励) 吉川喜美 (吉川文化学園を開設し、その後家政高等学校長として婦人教育に尽力) 尾立良夫 (東豊の村を閉じ、四月一日から大豊町として発足をみたのであり、本町は国道32号線が縦断し、四國の門戸として交通経済に飛躍的貢献をみた) 宮内勇、豊永明男、今井安博 (大豊地区4日クラブの中堅として活躍し、農業振興に努力) 大田昌通 (冷凍野菜を主とした農業経営に努力) 山中梅香、渡辺成甲、北濱博美 (畜産を主とした農業経営に努力) 原久吉 (養蚕を主とした農業経営に努力) 江間萬寿樹 (花木を主とした農業経営に努力) 小川力男 (稲作を主とした農業経営に努力) 寛基 (多年駐在保健婦として衛生思想の普及等に尽力) 小笠原原吉 (部)

(以下二面へ)



# 町民のための町政を

## 民意を十分反映して欲しい

飯田 正 福



飯田 正福氏

大豊町発足おめでとうと  
 さいます。  
 昭和三十年、四ヶ村合併  
 に際し、当時私も合併委員  
 の一人として参画してい  
 ましたが、なかなかの難  
 障で旧村長の秋山、豊永、  
 大豊町発足おめでとうと  
 さいます。

この間歴代村長以下役場  
 職員、村議会議員の皆さ  
 ん方のたゆまぬ努力に成  
 るべく努力により立派に成  
 り、四月一日を期して、大  
 豊町に改称され、人心一  
 新を感ぜられたことを心か  
 らお喜び申し上げます。  
 余談になるが、四町の郵便  
 局が今年七月一日で満百年  
 となるので、その歩みを調  
 り、大小区制は廃止され

維新後、大小区制に改め  
 られ、長岡郡は第五大区と  
 なり、その下に十ヶ村十  
 五ヶ村を設けられ、一区域と  
 する小區が設けられ、小區に  
 して置かれ、その小區内の  
 二、三村を分割して戸長が  
 任命されていた。  
 明治十一年郡村制改革に  
 より、大小区制は廃止され

高木さん達は県議会議決  
 (川村知事)の最後まで非  
 常な努力を払い苦勞をさ  
 れたことを思い出します。  
 大豊という村名も「とつ  
 てつけた名で呼びにくい、  
 新たに郡村制が施行され  
 べからず、あれこれと資料  
 をあさり明治初年頃からの  
 村の組織などについて若  
 干研究してもらったが、  
 町制施行にあたって、今昔  
 の相違を省みることもま  
 た無意味ではなからうと思  
 う。

藩政時代は豊永郷、木山  
 郷(大杉はこれに属す)市  
 郷山郷、上倉郷に分かれ、  
 それぞれの郷に大庄屋、惣  
 老が置かれ、その下に各村  
 (現在の部落)があり、村  
 には村役人として「庄屋ま  
 たは名元」「老(とより)」、  
 組頭(庄屋の助役)、「惣  
 老」が任命され行政が行な  
 われていた。

この新しい時代に対応し  
 て、新しい計画をたて人心  
 もあつたであろうし、反面  
 宜に適用したもので今後の町  
 づくりに、それぞれ専門  
 の方々によって最善の計画  
 をたて施行されることであ  
 るが、十分に民意を取り  
 上げて組み込んでいただく  
 ようお願いしたい。町制は  
 広範多岐にわたる要望とか  
 陳情も非常に多いと思う  
 が、いづれにしても、町民  
 のため町政であつてはほし  
 い。町制へのおよろこびが  
 脱線するおそれがあるが、  
 時代は福祉国家へまた公害  
 から国民を守るよう、自然を  
 守ろう、その上声がかか  
 ら下へ、下から上へと盛り  
 上っている。大豊は山また  
 山の緑にかこまれ、吉野川  
 を中心とする清流が悠久の  
 味を味わたり、不利益を

# 新町発足に当って

流れをみせ、人心にこよな  
 き意をもたらししているがと  
 る。農業生産食品は農業に  
 汚染されていないか、田畑  
 に近い飲料水はどうか、川  
 の魚はどうか、こういった  
 不安感も大きい。諸環境の  
 ため町政であつてはほし  
 い。町制へのおよろこびが  
 脱線するおそれがあるが、  
 時代は福祉国家へまた公害  
 から国民を守るよう、自然を  
 守ろう、その上声がかか  
 ら下へ、下から上へと盛り  
 上っている。大豊は山また  
 山の緑にかこまれ、吉野川  
 を中心とする清流が悠久の  
 味を味わたり、不利益を

店に店員として働きに出  
 るようになった。このた  
 めに姉妹は順子さんに下り  
 て中学校を卒業した一女  
 生徒の善行が認められて  
 県教育委員会から表彰さ  
 れ、四月一日大豊町制施  
 行記念式典の席上で四町  
 町長からも表彰されると  
 いう明るい話題。

「このような毎日であ  
 るのに学校の欠席はわず  
 かに三日のみ。性格は明  
 るく素直で申し分ない、  
 言動が一致しており正義  
 感にあふれて生徒教師間  
 の人望もあつた」とは担  
 任の上村節子先生の話。  
 二年生のときから生徒  
 副会長として会長を助け  
 教師、生徒間の橋渡しの  
 大役を果たし、三年間を  
 通して学級委員として活  
 躍、校内弁論大会でも優  
 秀な成績を受賞、図書利用  
 クラブ活動も極めて活発  
 で成績はぐんぐん伸び優  
 秀な成績で卒業した。こ  
 のような家庭であるので  
 本人も早く自活の道を選  
 びたいと看護婦に進むこ  
 とになり、中央高校の入  
 試に合格合格証生として高  
 知市内の病院で学習しな  
 した。あとに残されたの  
 は母の富士子さんと六人  
 の子どもたち、順子さん  
 はその二女、姉は昨年中  
 学校を卒業して県外の会  
 社に就職し、母は近くの

生活に明るさや利益をもた  
 らすことにもなるのであつ  
 て、他にもその例はたくさ  
 んあると思う。  
 村が町に改められたがこ  
 れが単なる「イメージチェ  
 ンジ」に終ることなく、新  
 しい立場、新しい観念に立  
 ち、町民のために、この  
 大小を論ぜず、積極かつ強  
 力に町政を進めるよう願  
 する次第です。みんな心し  
 て明るい和の町づくりに努  
 めましょう。

# 熱心に実践指導

## 交通安全に取り組み

大杉 中学校

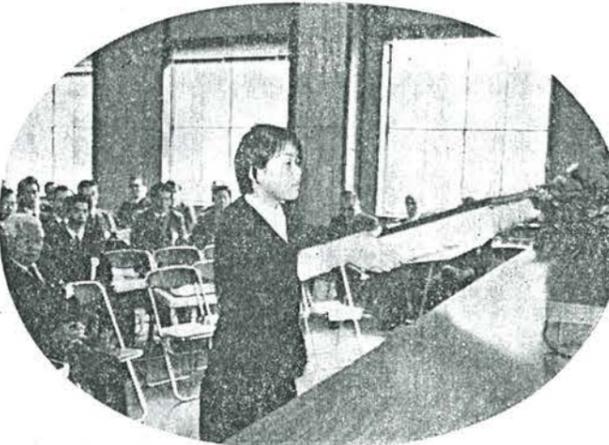
県下ではじめて自転車  
 通学に全員ヘルメットを着  
 用した大杉中学校(岡英朗  
 校長、生徒数一九五)では  
 四十五年度県指定、四十六  
 年度村指定で、交通安全教  
 育の指定を受けて「安全教  
 育の中の交通安全」につい  
 ての研究をすすめて、昨年二  
 月十二日と、十二月九日  
 に研究成果を発表を行ない  
 ました。



交通安全の実践行動を

「交通安全の実践行動を  
 習慣づけ、生命尊重の態度  
 を養うにはいかに指導すべ  
 きか」を研究主題にとりあ  
 げ本来ならば、特別活動と

して年間何時間か実施する  
 ことになってはいる安全教  
 育を、月二、三回は授業の中  
 に重点的に取りあげ、交通  
 指導を実施してきました。  
 大杉中の校下は国鉄駅三  
 つ、国道や県道立川線など  
 があり、交通量と事故の多  
 発で、いわば交通安全案件  
 の中におかれていますという  
 過言ではありません。従っ  
 て、こうしたことから、安  
 全への自覚を振起し、実践  
 活動を通じて自らの生命を  
 尊重する態度を習慣化させ  
 らるに事故多発社会の交通  
 環境から、潜在危険をさく  
 き、これに対処し、将来よ  
 きドライバーとなり、よき  
 社会人として、社会に貢献  
 名)を迎えて、授業や実習



交通安全の実践指導

# 母を助け、学業も優秀

## 県教育委員会から表彰

### 三谷 順子さん

行記念式典の席上で四町  
 町長からも表彰されると  
 いう明るい話題。  
 大豊町船戸三谷順子さ  
 ん(一五才)で、小学校  
 六年生のとき、父が死亡  
 した。あとに残されたの  
 は母の富士子さんと六人  
 の子どもたち、順子さん  
 はその二女、姉は昨年中  
 学校を卒業して県外の会  
 社に就職し、母は近くの

店に店員として働きに出  
 るようになった。このた  
 めに姉妹は順子さんに下り  
 て中学校を卒業した一女  
 生徒の善行が認められて  
 県教育委員会から表彰さ  
 れ、四月一日大豊町制施  
 行記念式典の席上で四町  
 町長からも表彰されると  
 いう明るい話題。

「このような毎日であ  
 るのに学校の欠席はわず  
 かに三日のみ。性格は明  
 るく素直で申し分ない、  
 言動が一致しており正義  
 感にあふれて生徒教師間  
 の人望もあつた」とは担  
 任の上村節子先生の話。  
 二年生のときから生徒  
 副会長として会長を助け  
 教師、生徒間の橋渡しの  
 大役を果たし、三年間を  
 通して学級委員として活  
 躍、校内弁論大会でも優  
 秀な成績を受賞、図書利用  
 クラブ活動も極めて活発  
 で成績はぐんぐん伸び優  
 秀な成績で卒業した。こ  
 のような家庭であるので  
 本人も早く自活の道を選  
 びたいと看護婦に進むこ  
 とになり、中央高校の入  
 試に合格合格証生として高  
 知市内の病院で学習しな  
 した。あとに残されたの  
 は母の富士子さんと六人  
 の子どもたち、順子さん  
 はその二女、姉は昨年中  
 学校を卒業して県外の会  
 社に就職し、母は近くの

生活に明るさや利益をもた  
 らすことにもなるのであつ  
 て、他にもその例はたくさ  
 んあると思う。  
 村が町に改められたがこ  
 れが単なる「イメージチェ  
 ンジ」に終ることなく、新  
 しい立場、新しい観念に立  
 ち、町民のために、この  
 大小を論ぜず、積極かつ強  
 力に町政を進めるよう願  
 する次第です。みんな心し  
 て明るい和の町づくりに努  
 めましょう。



旧校舎よさようなら!

# 旧校舎よさようなら!

## 奥大田分校出身者の集い

大田口 せらぎ、なつかしい山々、  
 小学校奥 ひととき美しい近代建築の  
 校舎、久しぶりに見るふる  
 が新築落 さとのたたくまにすつか  
 成したこ り童心にかえった出身者達  
 は、「おお、どうやら元氣  
 じゃったか」と挨拶、「西  
 ですが、岡先生はしう若い、教え  
 去る三月 子の方が頭が禿げかけた  
 十九日の が、など遠慮のない気易さ  
 午後、こ で、とりこわし寸前の旧校  
 舎に入り、あの日、この  
 柱、みんなの思い出が一つ  
 三十年前 一つにきざまれて五十余年  
 の風雪に耐えてきた母校  
 静かにどうべを垂れて乾杯  
 しました。このあと新校舎  
 のお別れと昔の恩師への謝  
 恩会を開きました。果まっ  
 たのは村内外で活躍する分  
 校出身者四十数名。  
 水遊びに興じた小川のせ  
 校舎で乾杯)

# 一歩前進の感

## 社会教育の充実を

東部青年団 北 漣 博 章

大豊町誕生、おめでとう  
 といつも過言ではないと  
 思います。また、出かせぎ  
 者も如何に多いことか。  
 こうしたことは確かに大豊  
 町の発展のために重要なた  
 事だ、ただでなく、何か  
 大豊全体が若かり、一歩  
 前進したような感じがしま  
 す。  
 学校の統合、道路網の拡  
 張、電話の自動化等、大豊  
 町という名にふさわしいよ  
 うに近代化されつつありま  
 す。  
 しかし、これは目に見え  
 る近代化ともいえるもので  
 あり、見えない近代化をど  
 のように進めていくか大変  
 むずかしい問題が山積して  
 います。  
 現在の大豊町は地すべり  
 と道路工事で生活している

わが大豊町も、目に見え  
 ない社会教育の近代化をは  
 かり、施設をふやし大きな  
 手をうって、青少年の住み  
 よい町づくりにしてしま  
 たいと思います。  
 「あたたかい土の温もり  
 あたためたい人の心」大豊町  
 ならではものをとりかえ  
 そうではありませんか。  
 私達青年も次代を担う若  
 者として、大豊町民として  
 の大切なものを失わない  
 よう、理想郷を胸に抱きな  
 がら明るい町づくりに精進  
 しようではありませんか。

政治が悪いといえはそれま  
 ですが、何かしら、地域  
 の連帯性が少しづつ失なわ  
 れているような気がしま  
 す。  
 物質文明は容赦なく町民  
 の心を含み、金では買えな  
 い大切なものが失なわれつ  
 つあるように思われます。  
 このような眼に見えない人  
 々の心を近代化するために  
 最近社会教育の重要性が認  
 識され全国的に積極的な施  
 策が押し進められていま

更されるという形式的な

るものであり、今後は水道となるもの

長州 志士 富永有隣と土佐

県文化財専門委員 橋詰延寿

(9)

有隣と土佐の同志連(一) 土佐は当時反政府的な空気が漲っていた。立憲社にも林有造を中心とする...

田辺家(十和)に身を潜む 爆薬まで用意、有隣を庇護

(情景)といっしょに熊本 田辺家(十和)に身を潜む 爆薬まで用意、有隣を庇護...

天坪婦人学級の歩み

心豊かに明るい地域づくり

学級長 西岡いつみ



生花と大正琴レッスン中の皆さん

一昨年から、天坪婦人会も名ばかりではあつては... 生花、和裁、料理、音楽、編物等々勉強したい...

先ず春蚕繭の増産 増掃と良繭多収で

春蚕は全桑繭化を目標に... 増掃と良繭多収で...

早掃きの励行 桑の増収と繭質改善のため

早掃きをすればその年に... 桑の増収と繭質改善のため...

錦織逸蔵宅 大井田正水郎を出て後... 錦織逸蔵宅...

田辺家豪

幡多郡十和田村一帯の十... 田辺家豪...

桑は増収見込み

四十五、六年と連続して... 桑は増収見込み...

養蚕の徹底消毒

養蚕の徹底消毒... 養蚕の徹底消毒...

養蚕の安定向上

養蚕の安定向上... 養蚕の安定向上...

養蚕の安定向上

養蚕の安定向上... 養蚕の安定向上...